

ばら組

エンジンはこうやってかける…

保育室の中積み木で遊ぶ場所を作るのが好きな子どもたち。積み木を四角く組み、積み木の板を天井に置いて、中の“ほらあな”に潜り込んだり、大事なものを入れる“倉庫”にしたりと工夫しながら構成していきます。

さて、その横にはままごとコーナーもあり、ままごとで遊んでいる子どももいます。クリスマスの飾りが置いてあるままごとの空間で、ごちそうを作ったり、クリスマスのパーティーごっこをしている子どももいます。そこへAちゃんが「もうすぐ出発するしな」と声を掛けました。先生（…乗り物だったんだ…）と思い、「出発するの？気をつけてね」と声を掛けました。するとBちゃん、天井ではない場所に立てかけてある積み木の板をガタガタガタガタ…と揺らしはじめました。それがエンジンなんだ！と驚き、先生「…それって何の乗り物なん？？」と尋ねると、Bちゃん「船！」もしかしたらオールをこぐような気持だったのでしょうか。Aちゃんも、「ここ（ままごと）と船がつながって、動くねん」と教えてくれました。

さて、弁当を食べた午後船の運転が始まりました。ただ、部屋に子どもたちがたくさんいたことから、ガタガタガタ！のエンジンが大きな音だ、と他の子どもたちが話し始めました。先生「すみません、ちょっと音が大きいみたいだけど、小さな音になりますかねー」と尋ねました。Dちゃんがコトコト…とそっと揺らしました。先生「あ、小さくなりましたねえ。それでも運転できそうですか？」Dちゃん「あ、幼稚園の周りとか、近くを運転するのはこれでできるけど、とおーいところに行くときは、おっきくしなあかんねん。」と一生懸命説明してくれました。



ままごとをもって
おでかけパーティ



今日はこんなのが
できた！



ここをどうしようか

いくつかの遊びの場が魅力的な時に、「つながるってことな」と何となく大きなつながりをもっていく、そんな姿でした。一緒に遊んでいる仲間と、『これをガタガタさせることがエンジン』と共通に知りながら遊んでいたのでしょう。遠くにいくときはおっきく動かすんだ、と一生懸命考えている姿をととても微笑ましく感じました。

寒さに負けないぞ！のマラソンごっこで走る姿は、ミニ運動会のときよりまたひとつたくましくなっています。一輪車、アクセサリー屋さんやねごっこ、さら砂のパン屋さんやカレー屋さん、氷鬼、サッカー…興味をもったことに3学期もどんどん挑戦し、楽しんでほしいです。

2学期も温かく見守っていただき、ありがとうございました。よいお年をお迎えくださいね。